

極小未熟児の発達フォローアップ

(分担研究：ハイリスク児の地域ケアのあり方に関する研究)

分担研究者 奈良 隆寛 浜野晋一郎 大石 勉

プロトコールに基づいて6歳になる極小未熟児の新生児期の経過、家庭の背景、神経学的診察、知能テストを行ったところ表1のようになった。6歳時の身体計測値は標準であった。発達歴ではおむつが取れるのが3歳を過ぎてからのものが8名中5名に見られた。

収入は年収800万以下のものが多かった。学歴は高卒のものが多く、大学卒のものは両親16名中1名しか見られなかった。

片足立ちは20秒以上出来るものは2名しかいなかった。

WISC-RではVIQとPIQの差が20秒以上あ

るものが2名見られた。構音障害と発達性言語障害が1名ずつ、視空間認知障害が2名に見られた。

C. 次年度計画

1. 2歳、3歳時の発達プロトコール(案)作成
2. 各施設におけるearly intervention実施について具体的検討などを行い、9月より実際にスタートする。
3. それと平行して極小未熟児の就学前の発達の現状分析を引き続き行う。
4. Early interventionの実施

表

ID	基礎週齡				回内回外				X子版		Axis III				
	生年月日	在胎	出生体重	年齢	頸圍	片足立ち	到産手	synchroste	Axis I	IQ					
145586 KY	61.7.15	26.3	935	44	6.6	50.5	20秒以上	正常	右手	右から左<左から右	正常	600-800万	正常	高卒	短大
152677 AY	61.9.1	30	947	40.4	6.4	49	20秒以上	正常	右手	右から左<左から右	正常	400-600万	正常	高卒	高卒
152880 AK	61.9.1	30	1160	40.4	6.4	49	10秒以下	正常	右手	右から左<左から右	正常	400-600万	正常	高卒	高卒
158415 FJ	61.10.13	26	640	62	6.3	47.3	10秒以下	境界	両手	右から左>左から右	境界	境界	境界	構音障害(複空間認知)	高卒
163978 SY	61.11.27	30	950	41.3	6.2	48.5	10秒以下	正常	右手	右から左=左から右	正常	400-600万	正常	複空間認知障害	高卒
166562 TK	61.12.15	32.5	805	44.4	6.1	51.2	10秒以下	境界	両手	右から左>左から右	境界	100万以上	正常	109	高卒
169129 HT	62.1.8	24.6	730	45.1	6	51	10-20秒	境界	右手	右から左=左から右	境界	600-800万	正常	高卒	高卒
189420 MM	62.1.11	32	846	40	6	47.8	10-20秒	正常	左手	右から左=左から右	正常	400-600万	正常	発達性言語障害	高卒



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



プロトコールに基づいて6歳になる極小未熟児の新生児期の経過、家庭の背景、神経学的診察、知能テストを行ったところ表1のようになった。6歳時の身体計測値は標準であった。発達歴ではおむつが取れるのが3歳を過ぎてからのものが8名中5名に見られた。収入は年収800万以下のものが多かった。学歴は高卒のものが多く、大学卒のものは両親16名中1名しか見られなかった。

片足立ちは20秒以上出来るものは2名しかいなかった。

WISC-RではVIQとPIQの差が20秒以上あるものが2名見られた。構音障害と発達性言語障害が1名ずつ、視空間認知障害が2名に見られた。